

正しい行動は良い結果につながる



トップの素顔

vol.

9

ラニイ福井貨物株式会社
取締役会長

清水^{しみず}
則明^{のりあき}氏

普段、垣間見ることが出来ない福井商工会議所の議員の素顔を探る「トップの素顔」。今回はラニイ福井貨物(株)の取締役会長を務める清水則明氏にお話を伺いました。

ヨット競技に没頭した学生時代

昭和29年3月、吉田郡松岡町に三兄弟の真ん中として生まれる。実家は織物業を営み、織機の音を聞いて育った。近隣には緑豊かな山々や田園風景が広がり、春には山菜採り、夏には九頭竜川で水泳にも励んだ。

松岡小学校時代は京福電車(現…えちぜん鉄道)で、最寄りの「志比堺駅」から隣の「松岡駅」に電車通学するという珍しい経験を積んだ。

松岡中学校時代にはブラスバンド部に在籍し、トランペットを担当。2年生の時には福井国体の聖火リレーを演奏で出迎え。目の前を通る聖火の炎は今も忘れられないという。

福井大学では、海への憧れからヨット部に入部。三国町の現サンセット

【プロフィール】

昭和29年吉田郡松岡町生まれ。福井大学工学部卒業。昭和51年福井貨物自動車(株)(現:ラニイ福井貨物(株))入社。平成11年10月代表取締役社長に就任。令和4年取締役会長に就任。
福井商工会議所副会頭の他、(一社)福井県商工会議所連合会副会頭、(一社)福井県トラック協会会長などの公職を務める。

【会社概要】

設立:昭和3年 本社所在地:福井市和田中町113-1
電話:0776-80-0300 従業員:423名(グループ合計520名)

ビーチの沖合で、日本海の荒波の下、セーリングの練習に没頭した。ヨット競技には多くの知識やスキルが必要とされ、機装(各種装備品の取り付け法)、操船術、風やコースを読む力、ライバル艇とのかけひきなど、「ヨットの魅力は深い」と笑顔の清水氏。猛練習の成果も有り、昭和52年には、青森国体に成年男子2人乗りの代表として出場を果たした。

国際物流担当から企業経営者へ

大学卒業が近づくと、母方の叔父である藤尾繁郎氏(現・ラニイ福井貨物(株)名誉会長)から、「うちで働いてみないか」と誘いを受ける。身体を動かす仕事に魅力を感じて入社を決意。入社当初は営業部門を担当した。

23歳になると、当時取扱量が増えていた国際物流業務に参入することとなり、清水氏に担当者としての白羽の矢が立った。そこで「国際物流を学ぶチャンス」と猛勉強に励み、国際物流に必要な「通関士」の資格を取得。約20年間にわたり国際物流に従事した。

平成9年に専務取締役就任。そこからわずか2年後の平成11年、先代の藤尾洋児氏が社長在籍2年で急逝。会長を務めていた藤尾繁郎氏から社長就



藤尾秀樹社長のラグビー経験が縁で、福井女子ラグビーチームをサポートしている。

任を打診された。当時、既に400名を超える社員とその家族の人生を預かる重責をひしひしと感じつつも、「自分以外にはいない」と社長職を引き受けた。

ところが、経理や財務の知識はほとんど無く、福井商工会議所の簿記講座にも通い、資格を取り、知識の習得に向けてひたすら勉強に励んだ。

だが、財務の知識が備わってくると、自社の財務内容が思った以上に厳しいことに気が付く。当時はバブル経済がはじけた後遺症から、巨額の有利子負債を抱え、厳しい資金繰りを強いられていた。会社が生き延びるためには企業体質の改善と強化が急務と考え、「就任からの10年間は数字との闘いだ」と、従業員と力を合わせて、懸命に会社の再建に取り組んだことが忘れられない思い出という。

変化はチャンス

事業の再建に目処がついたのに合わせ、福井市和田中への本社・ターミナルの大規模な移転を計画。社長在任20周年を機に令和元年6月に社長職を退き、会長職に就任した。

一方、平成21年から約16年の長きにわたり福井県トラック協会の会長を務める。「トラック物流は生活や経済の血液」と話す清水氏。大規模災害やアクシデントでも滞りなく配送できるよう、中部縦貫自動車道の早期完成や、日本海側にも鉄道・道路網の整備を呼び掛けていきたいと意気込みを語る。

また、北陸新幹線の福井開業を受け、高速交通網が整備されることで交流人口や物流量も増加し、生産・流通・消費の産業構造も大きく変わる節目に來ていると話す。こうした転換期を迎えている福井について、「変化はチャンス」と語る清水氏。変化の流れに対して前向きにチャレンジしていくことで、大きな成果に繋がると将来を見据えている。

社員の幸福に向けて

プライベートでは、朝のウォーキングがルーティンとなっている。毎朝5

時に起きて5kmほど自宅周辺を歩くことで、心が落ち着き、食事も美味しいと笑う。また、最近は近隣の山々を半日程度をかけて登ったり、自宅の家庭菜園で野菜の栽培にも汗を流している。

自身の健康と同様に、社員達の物心両面の幸福に向けても気を配っている。同社では44項目の心構えを定めた「RUNI(ラニイ)フィロソフィ」を令和元年10月に制定。故稲盛和夫氏の教えをベースに、「約束を守る」「他人を思いやる」など、正しい考え方で行動すれば、自ずと良い結果に繋がるという考えに基づき行動指針である。

毎朝のミーティングには清水氏も参加して輪読会を実施しており、「社員にはフィロソフィの実践を通じて人間性を高め、幸せな人生を送ってもらいたい」と優しい目で社員達を見守っている。



「RUNI フィロソフィ」には44項目の行動指針が掲載されている。